

ハロー タウン

第77号

生涯学習情報
●連絡先●
茂原市生涯学習課
☎20-1559

大きい樹 太い樹

茂原市には、天然記念物として国および市指定の樹木が七ヶ所あります。へーそんなにあるの？ いったいどんな木なのだろうと、それらの木々を巡ってみました。

葉っぱに花が咲く

①円立寺の菩提樹はシユーベルトの菩提樹やお釈迦さま由来の菩提樹と異なるシナノキ科の落葉樹で、県内でも珍しいものです。七月にハート形の葉の付け根に派生した花柄の中部にへら状の包葉があり、葉っぱに花や実がつくように見えます。市内循環バスが訪問に便利です。



蓮福寺の大公孫樹

太古の面影の発見

市内にイチヨウが多いなかで②蓮福寺の大公孫樹は寺の創建時に植えられた約四百年の巨木で、境内にそびえる姿が見事です。根元には落ちた実から生まれた若木が何本かありました。その葉は鋸歯状で、親木と異なり、理科で学んだ「若木はイチヨウの太古の姿を垣間見せる」を思い出しました。



若木の葉

房総の自然が残る

スタジイなどの常緑の広葉樹は繁殖力が強く、房総に古くから残る樹木で、市内には③本納橋樹神社社叢④大沢の大椎⑥真名天照大神社社叢⑦鶴枝ヒメハルゼミ発生地(国指定)があります。(社叢は神社の森を意味します)



大沢の大椎

中でも④大沢の大椎は、山の上で農家の門前に威容を誇っています。スタジイは、土地開発などで減少、今は千葉県南部に分布、茂原は北限で、またヒメハルゼミの分布と重なっています。

シイはシイタケの語源ですが、いまではスタジイではなく、コナラやクヌギで栽培されています。スタジイは、自然林として残り、たくましく環境を守っているのです。



近所の方に聞いてみました

大椎の所有者高石家に生まれ隣家の養子となった高石正巳氏は九十六歳。小学生のころ、大椎の周りで遊び、同級生三人、下級生二人の友達五人が楽に入れる洞に隠れたり、登ったりしたことや、親に叱られ大椎に登ってじっとしていたことなども。昭和十九年の食糧事情の悪いころには実を炒って食べたそうです。



秋の夕日に・・・

カエデ科の葉は蛙の手に似ていることから、古くはカエルデと呼ばれていました。園芸で珍重され、その種類も多種多様です。



渋谷の大モミジ

カエデ科の中でも⑤渋谷の大モミジは古くからあったイロハモミジ。葉の形が七つの小葉に分かれる場合が多く「いろはにほへと」七文字になぞらえた命名とか。渋谷の大モミジも七つに分かれていました。

♪秋の夕日に照る山もみじ赤や黄色の色さまざまに♪と歌われていますから紅葉が楽しみです。桜前線は北上しますが、紅葉前線は南下します。紅葉前線に注目して、天然記念物を訪ねてみませんか。

※ 図の番号は文中番号に対応します



詳しくは茂原市のホームページ参照
「茂原市生涯学習課」茂原市の文化財